

まゆっこ

2022年 秋号
(2022.10)

ゾーン・サポートきぬの郷
多機能型通所支援事業所： まゆ
保育所等訪問支援事業所： つむぎ
相談支援事業所： 糸ぐるま

県外出身の私にとっては、群馬県の秋の時期は短く、とても貴重な時期だと感じます。紅葉も始まり、暑さも和らぐ過ごしやすいうちが増えてきました。2022年も10か月が過ぎ、秋の訪れを感じるとともに、もう今年も残す所、あと2か月となりました。また、コロナウイルスにより、毎日の生活に新しい生活様式を取り入れ始めてから、気づけば3年弱となりました。

「まゆ」でも、こういった情勢となる前は、フルーツ農園・富岡製糸場・もみじ平公園・ベイシアでの買い物など、利用者様とともに出かけ、利用者様にとっても、また我々スタッフにとっても新たな一面を知る事ができる大切な機会となっていました。何か新しいことをする、いつもと違った環境に身をおくことは、緊張や不安も伴うと思いますが、利用者様はそういった表情や行動よりも、楽しみの気持ちが強く、外出などの新しい刺激は、とても大事なことと感じます。そういった外出が出来ない分、室内でも楽しめる活動を行ってききましたが、「こんな反応がある！好きなんだ！これは苦手なんだ」ということが表情や動きで見てとれ、こちらも利用者様の表情に惹かれ、写真を撮る手が止まりません。

こういった情勢ではありますが、その情勢の中で日々の大切さを痛感しています。私たちの人生は、立ち止まることもなく、翌日・翌月・翌年と、どんどん進んでいきます。コロナウイルス・インフルエンザと心配なことも増えていき、どんな未来が待っているのか分からないところではあります。この情勢になり、私は今までより一層、日々の大切さ、また、この生活をどうポジティブにとり、楽しく過ごすのか、よく考えるところでありました。

気付くと、同じ毎日になりがちであります。同じような日でも、その日により体調や気持ちなどのちょっとした変化があるものですね。「今日も1日元気に過ごすことできた」これが、一番であるかと思えます。その中でも、その日のかけがえのない1日を、どのように、

「まゆ」で過ごして頂くのか。そんなことも考えていたら、秋も感じつつ、もうそこまで冬が来ています。コロナの時期であったけど、こんな楽しいこともあったと感じて頂けるよう、日々奮闘していく所存です。

理学療法士 入内島敬恵

9月2日からきぬの郷に異動になりました高橋です。デイサービスは初めてなので色々覚える事が沢山ありますが、頑張りますので今後ともよろしくお願ひします。

看護師 高橋里子

かき氷



トマトの収穫



水遊び・シャボン玉



運動会



誕生日会



スイカ割り

